

美術科学習指導案

指導者 広島市立〇〇中学校
教諭 〇 〇 〇 〇

- 1 日時・場所 平成20年11月〇日(〇) 美術室
- 2 学年・学級 第2学年〇組
- 3 題材名 「浮世絵を語ろう～ジャポニスムと東西交流を観る～」

4 題材について

○ 題材観

本題材は、日本を代表とする浮世絵の鑑賞活動を通して、現行中学校学習指導要領美術科の第2学年及び第3学年の目標「自然、美術作品や文化遺産などについての理解や見方を深め、心豊かに生きることと美術とのかかわりに関心をもち、よさや美しさなどを味わう鑑賞の能力を高める。」に迫るために、主に、内容「日本の美術の概括的な変遷や作品の特質を調べたり、それらの作品を鑑賞したりして、日本の美術や文化と伝統に対する理解と愛情を深め、美術文化の継承と創造への関心を高めること。」を扱うことになる。

ジャポニスム現象は、絵画、版画だけでなくポスター、彫刻、工芸、装飾、建築、音楽までに及んでいる。その発端になったのが日本の浮世絵である。ジャポニスム現象を学び、また、西洋文化の技法を積極的に浮世絵に取り入れた自国の美術文化を感じ、知り、語ることにより、日本の美術文化の継承と創造への関心が高まり、日本の美術文化に誇りをもつことができるものと思う。

また、「葛飾北斎」が常に探求心を持ち続け、自己の絵画世界を追求した生き方等を、生徒が知り、感じることは、美術科の最終目標である「豊かな情操（美しいものやよりよいものに憧れ、それを求め続けようとする豊かな心の働き。）を養う。」ことや自己実現を果たしていく態度の形成に示唆を与える内容である。

浮世絵の表現、主題等は、現在の漫画表現に見られる平面的な表現に慣れている生徒にとって、批評し合い、よさや美しさを味わいやすい面もあると考える。

○ 生徒観

本年度実施した美術科に関する意識調査の結果では、第2学年は、「美術の学習が好きだ。」という設問に対して「そう思う。」又は「どちらかというと思う。」の肯定的な回答をした生徒が、82%以上で、19年度の回答率と大きく変化がないが、17年度の国立教育政策研究所の学習意欲等に関する全国調査（約400校を対象）と比較すると、美術の学習を好きと感じている生徒は多い。

しかし、「鑑賞の授業が好きだ。」「日本の美術に関心がある。」という設問に関しては、肯定的な回答をした生徒は約45%で、多くの生徒が美術の学習は好きだと答えているにもかかわらず、鑑賞、特に日本の美術に関しては、生徒の意識が低い。

つまり、生徒は表現の活動は好きだが、鑑賞活動は、楽しくなく、自国の美術文化には関心が高くないという実態がある。

鑑賞学習がわかりづらいと答えた生徒に直接聞くと、「何か楽しくない。どうなれば、いいのか、はっきりしない。」と答えることから、教師主導の授業展開等、指導の在り方にも問題

があり、支援方法の工夫や指導の目当てが明確でなく、系統的な指導計画が不十分であることが反省点である。また、「グループ学習は好きである。」という設問に対して、75%の生徒が好きであると回答していることから、指導の手立てとして、鑑賞学習にグループ学習を取り入れ、指導の目当てを明確にすることが考えられる。

○ 指導観

本題材は2時間扱いで、1次では、ジャポニスム現象に焦点をあて日本の伝統的な美術のよさを、主体的に想像力を働かせて味わわせたい。そのために、ゴッホの「タンギーじいさん」の第1印象から自分なりの感じ方で、想像することができるように、ワークシートを使って、自分の感じたことや考えたことを記入し、そのことを、他者に伝えたり、聞いたりして、自分が想像できなかったことを取り入れ思いを述べさせたい。

このように鑑賞作品から感じたことや考えたことを伝え合い、共感し、共有し合うためグループ学習を取り入れ、「言語活動の充実」を図るようにする。

2次（本時）では、「北斎」の「富嶽三十六景」に視点をあて、西洋からの遠近法等を積極的に取り入れ、独自の遠近法を獲得した東西交流の視点から、日本の伝統的な美術のよさを味わわせたい。

そのためには、1次と同じく、美術における鑑賞学習の「感じること」「考えること」「語ること」を、個人思考から集団思考の場を取り入れたグループ学習で行いたい。

また、「役者絵」にも視点をあて、プロジェクターの映像等で視聴覚機器を利用し、その作者の工夫、浮世絵の素晴らしさを感じ取らせたい。

5 題材の目標

- 対象となる作品を見て、主体的に想像力を働かせて感じ取ろうとする。
- ジャポニスム、東西美術の交流を理解し、浮世絵の創造的な表現や独自性を感じ取り、日本の伝統的な美術のよさを味わえる。

6 題材の評価規準

	題材の評価規準	学習活動における具体的評価基準
1. 美術への関心・意欲・態度	対象となる作品を見て、主体的に想像力を働かせて感じ取ろうとしたり、自分なりの感じ方で批評し合おうとしたりする。	①主体的に想像力を働かせて感じ取ろうとする。 ②自分なりに考えたことや根拠を示しながら主張しようとする。
2. 鑑賞の能力	ジャポニスム、東西美術の交流を理解し、日本の伝統的な美術のよさを味わう。	①ジャポニスムについて理解し浮世絵の創造的な表現や独自性を感じ取る。 ②日本の美術文化に誇りをもつことができる。 ③西洋画の遠近法に出会い、新しい表現を生み出した浮世絵の創造的な表現や独自性を感じ取る。

7 指導と評価の計画

次	時	学習活動	評価の規準・評価方法
1	1	<ul style="list-style-type: none"> ・「タンギーじいさんの肖像」を鑑賞し、自分なりに想像したことをグループや学級に伝える。 ・ジャポニスムについて知る。 ・ジャポニスムについて学んだことを文章にして、伝える。 	<p>【関心・意欲・態度】 1－① ワークシート</p> <p>【鑑賞の能力】 2－① ワークシート</p>
2	1	<ul style="list-style-type: none"> ・「富岳三十六景 神奈川冲浪裏」を鑑賞し、遠近や奥行き表現上の特色を調べ、気づいたことをグループや学級に伝える。 ・カナレットの作品と北斎の作品を比較し、共通点と相違点を考え、気づいたことをグループや学級に伝える。 	<p>【関心・意欲・態度】 1－② ワークシート</p> <p>【鑑賞の能力】 2－②、2－③ ワークシート</p>

8 本時の目標

- ・自分なりに考えたことや根拠を示しながら主張しようとする。
- ・西洋画の遠近法に出会い、新しい表現を生み出した浮世絵の創造的な表現や独自性を感じ取る。

9 本時の準備物

指導者…図版、プロジェクター、パソコン、教材提示装置、CDデッキ
浮世絵、ワークシート
生徒…教科書、筆記用具

10 本時の指導過程と評価

	学習内容・学習活動	教師の支援 (▲ 努力を要する生徒への支援)	評価規準・評価方法
導入 10	<ul style="list-style-type: none"> ・前時のことを振り返る。 ・ドビュッシー「交響詩 海」より「風と海との対話」を聴く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクターの画像でジャポニスムを視点に「浮世絵」について思い出させる。 ・ジャポニスムの視点から葛飾北斎の作品「富嶽三十六景」に興味を持たせるためドビュッシーの音楽を聴いて、どの絵をイメージして作曲したか、個人思 	

		<p>考で考えさせ、その後、グループで考え、発表させる。</p> <p>※ グループ学習時、協力に必要なスキルを教え、使うように励ます。ワークシートはグループに一枚配布。</p>	
<p>展開 15</p>	<ul style="list-style-type: none"> 北斎の作品「富岳三十六景神奈川沖浪裏」について鑑賞し、ワークシートをもとに調べ、気づいたことを発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> プロジェクターの画像とコピーした画像を利用して、課題提示する。 個人思考した後、グループ学習をさせる。途中、ヒントとなる動画をみせる。 ▲ しっかり言葉がけをして、傾聴し、提案を行う。 グループ活動について肯定的評価をした後、発表させ、課題について、振り返り、まとめる。 教科書の掲載作品と比較させ課題提示する。 個人思考した後、グループ学習をさせる。発表後、課題について、振り返り、まとめる。 ▲ しっかり言葉がけをして、傾聴し、提案を行う。 	<p>【関心・意欲・態度】 ワークシート 1-②</p> <p>【鑑賞の能力】 ワークシート 2-③</p>
<p>15</p>	<ul style="list-style-type: none"> カナレットの作品と北斎の作品を比較鑑賞し、気づいたことを発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> 教科書の掲載作品と比較させ課題提示する。 個人思考した後、グループ学習をさせる。発表後、課題について、振り返り、まとめる。 ▲ しっかり言葉がけをして、傾聴し、提案を行う。 	
<p>5</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「役者絵」「美人画」について、作者の浮世絵への表現の工夫について、ビデオ、本物の浮世絵を鑑賞する。 また、葛飾北斎の逸話について、先生の話聞く。 	<ul style="list-style-type: none"> 浮世絵についての動画鑑賞や指導者から話をし、浮世絵の造形美、独自性等、浮世絵の世界を広めさせたり、作者の生き方を伝える。 特に、「葛飾北斎」が常に探求心を持ち続け、自己の絵画世界を追求した生き方を紹介する。 	
<p>まとめ 5</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「浮世絵」について、感じたことをワークシートに記入する。 	<ul style="list-style-type: none"> この授業で感じ、考え、語ったことを振り返り、日本の美術文化「浮世絵」や作者について感想を書かせる。 ▲ 本時の素直な思いを傾聴し、それを整理した言葉で伝え、感想を書きやすいようする。 	<p>【鑑賞の能力】 ワークシート 2-②</p>